

2021年度 政務活動費領収書等貼付用紙（東京都議会）

No. 2-1

支出日	2022年2月1日(火)		政務活動費 支出額	220,330 円
項目 (○で囲む)	調査活動補助費	8 会議費	支払先	株式会社ネクイノ
	1 人件費	9 グループ活動費	使用者	議員名 森澤 恭子 
	2 事務所費	10 政策推進等活動費	経理 責任者	議員名 森澤 恭子 
	3 事務費	広報・広聴活動費	会派 代表者	議員名 森澤 恭子 
4 交通費	11 広報紙(誌)発行費			
調査・政策立案費	12 HP作成・管理費			
5 視察・研修費	13 政策広報費			
⑥ 調査委託費	14 会費			
7 資料購入・作成費				
支出目的	政務活動のため行う外部団体等への調査研究委託に要する経費			
支出内容	調査委託料			
備考	全額(按分なし) 振込手数料330円を含む			



活動記録簿（調査委託）

会派・議員名 東京みらい

件 名	女性の健康課題に関するアンケート調査		
目 的	生理や妊娠・出産、更年期など女性特有の健康課題に関する意識や職場環境などについて調査し、今後の政策提言に活かしていく		
委託先	株式会社ネクイノ	代表者名 所在地	代表取締役 石井 健一 大阪市北区曽根崎新地1-13-22 御堂筋フロンティア WeWork
委託金額	220,000円（税込み）		
委託期間	令和 3年 12月 9日 ~ 令和 3年 12月 16日		
内容・結果等	<p>(内容)</p> <p>女性特有の健康課題に関して、の意識、行政や職場に期待することなどを把握するためにアンケート調査を実施した。具体的には、期間は2021年12月9日～12月16日、18歳以上の女性とし、全7問の設問。政策提言に活用するためのレポート作成を依頼。</p> <p>(結果) 回答者数は320名。</p> <ul style="list-style-type: none"> 女性特有の健康課題について関心のあるトピックは、ピル80%、生理・生理用品62.8%、妊娠・出産のタイミング、避妊方法、HPVワクチンがそれぞれ39.1%などとなった。 男性に知ってもらいたいと思う女性特有の健康課題については生理痛やPMSなどが圧倒的1位で74.1%となった。 また、フェムテックで最も期待するものも40.9%で生理痛やPMSなどの解決方法で生理に關することへのニーズが高いことがわかった。 職場で力を入れて欲しいことについては、生理休暇の取得しやすさ（54.1%）、婦人科領域の検診検査を定期健康診断に盛り込む（47.5%）、女性特有の健康課題について正しい理解の啓発（32.5%）となった。 行政がより力を入れるべきことについては緊急避妊用ピルの容易な入手（53.4%）、ピルの正しい知識の啓発（48.4%）などとなった。 		